

1学期期末考査を『5日間』に延長します！取り組みやすくなるはずです！

<変更のきっかけ> 1学期中間考査の試験において、『1日4科目の日』がたくさん！→13時過ぎに試験終了！→試験勉強で寝不足の生徒もいるなか、昼食をとらせず13時すぎまで試験を行うことは生徒の健康に悪影響と判断！

- <その他の理由>**
- ①試験中でも、部活動の大会が試験期間直後にある場合には、放課後に昼食をとり活動を行い、終了時間が15時を過ぎる部活動がある。
 - ②今後も、考査を『1日4科目』で行わなければならない学年がある。最終日を2科目にすれば、最後に学校行事を入れることが可能。また、日々、部活動を行い、帰宅後に翌日の3～4科目の試験対策を行う必要もある。睡眠時間を削る生徒も予想され、生徒の健康に悪影響。
 - ③試験中の午後に部活動を行うには、生徒の安全を守るために顧問の先生方の参加が必要。本来、試験の午後に、採点や成績処理を行うのだが、部活動をしているとその作業ができないため、勤務時間の延長や自宅での作業となってしまう、働き方改革に逆行し、先生方の健康に悪影響。
 - ④2学期中間考査以降でも『1日4科目』で行わなければならない学年がある！考査最終日に『表彰伝達式&全国総体壮行会など』を行う必要がある！→1学期中間考査と同じことを繰り返すことはできないと判断！



そこで、先生方と協議し、

**期末考査を『5日間』、中間考査を『4日間』に延長することで
多くの問題点が解消できる！！！！と判断しました！**

- <メリット>**
- ①『1日3科目実施』ならば、『12:00』に終了できる！健康上かなり安心！
 - ②考査最終日を『2科目』とできれば、『学校行事』を入れても『12:00』前には終了できる！
 - ③『2科目実施』の日が増えることで、部活動を実施しても早く帰宅できる。また翌日の試験対策も『2科目』であれば、試験対策がしやすくなる！
 - ④先生方の採点業務などにあてる午後の時間が増える。また、試験期間が長くなることで採点にあてる日も増える！



*デメリットとしては、『授業日』が減り、教科・科目の指導内容が遅れてしまうことや、終わらない可能性を予想しました。しかし、先生方に確認したところ、それほどの遅れにはならない、終わらないということはない、という報告を受けています！



*実は前任校の桐商で、『**中間考査4日制・期末考査5日制**』を昨年度より実施していますが、生徒・教職員からは好評でした！保護者のみなさまからは、『**2科目の対策なら、やりやすいはず！**』というご意見をいただき、『**生徒にとって取り組みやすいシステムになってよかった！**』というお言葉を多数いただきました！『for our well-being』の『our』のとおり、『**生徒にとって取り組みやすい変更！**』『**先生にとっても採点の余裕が生まれる変更！**』『**保護者にとっても安心できる変更！**』となっています！！

生徒のみなさんへお願い！！

以前より『**取り組みやすくなった！**』のなら、『**結果**』に現れるような努力を！

*『**セルフマネジメント能力**』などの『**非認知能力**』も向上させていきましょう！！

★これからの時代は『認知能力』のみならず『非認知能力』が必要です！★

先日の生徒総会後にお話ししましたが、『**認知能力**』とは『**偏差値やIQ**』で評価できる『**学力**』を指し



ています。それに対し、『**非認知能力**』とは、左の図のように『**認知能力に非ず（あらず）**』という解釈で『**認知能力以外のすべての能力**』を指しています！よく『**勉強だけでいても社会では通用しない！**』というコトバを耳にするとと思いますが、これは言い換えれば『**非認知能力を意識して伸ばさなくてはいけない！**』という意味であると言っても過言ではありません！

★なぜ『非認知能力』の育成が必要なのでしょう？？？★

急激な社会の変化・低迷する経済・急激な人口減少・多様な価値観・従来のビジネスモデルの変化・終身雇用制の崩壊・『AI』の台頭・答えのない多くの社会課題 …

『**答えのない問題**』に対応するには『**さまざまなチカラ（非認知能力）**』が必要です！

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①課題発見力（問題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う力） ③実践力・実行力（計画に沿った実践・行動する力） ⑤協働力（周囲の人たちと協力的に業務を進める力） ⑦感情制御力（自分の気持ちの揺れをコントロールする力） ⑨行動持続力（よい行動を習慣化させる力） ⑪創造力・想像力（あたらしいものを考えたり、作り出す力） ⑬交渉力（相手と話し合い、合意点を探る力） ⑮ストレスコントロール・楽観性・忍耐力・鈍感力（気に病まず、ものごとを進める力） ⑰自己肯定感（ありのままの自分を肯定する感覚） ⑱判断力（危機的状況や複数の選択肢が存在する状況で、効果的な意思決定を下す力） ⑲ユーモア力（言葉等によって、相手やその場を和ませたり、その場の空気を温かくする力） ⑲共感力（他者の考えや意見、喜怒哀楽といった感情に寄り添うことができる力） ⑲労力対効果・効率実践力（コスパ・タイパなどを含め、効率よくものごとを推し進める力） | | <ul style="list-style-type: none"> ②計画立案力（問題解決のための効果的な計画を立てる力） ④親和力（円滑な人間関係を築く力） ⑥統率力（目標に向かって組織を動かす力） ⑧自信創出力（ポジティブな考え方やモチベーションを維持する力） ⑩レジリエンス（失敗や困難から立ち直る力） ⑫柔軟性（変化に適応する力） ⑭発信力・発表力（自分の意見や考えをわかりやすく発表する力） |
|--|--|--|

これからも藤工は『**みんなの well-being 向上**』のために『**BLAZE**』していきます！生徒のみなさんの『**主体的な行動**』も楽しみです！

校長 星野 亨

どの『**非認知能力**』をあなたは伸ばしていきたい？